

令和2年度災害廃棄物処理計画策定モデル事業 (近畿ブロック)の結果概要

中小規模市町村の府県調整型
災害廃棄物処理計画策定モデル事業(20団体)

令和3年2月

近畿地方環境事務所 資源循環課

モデル事業の対象地域・実施項目

1 中小規模市町村の府県調整型の災害廃棄物処理計画策定モデル事業・・・計20団体

「災害廃棄物処理計画」を策定する予定がある地域のうち、廃棄物処理担当者が少ない中小規模市町村等を対象として、中小規模市町村等が災害廃棄物処理計画を策定する際の課題と対処法について府県が調整しつつ、「災害廃棄物処理計画骨子案」の策定を支援した。

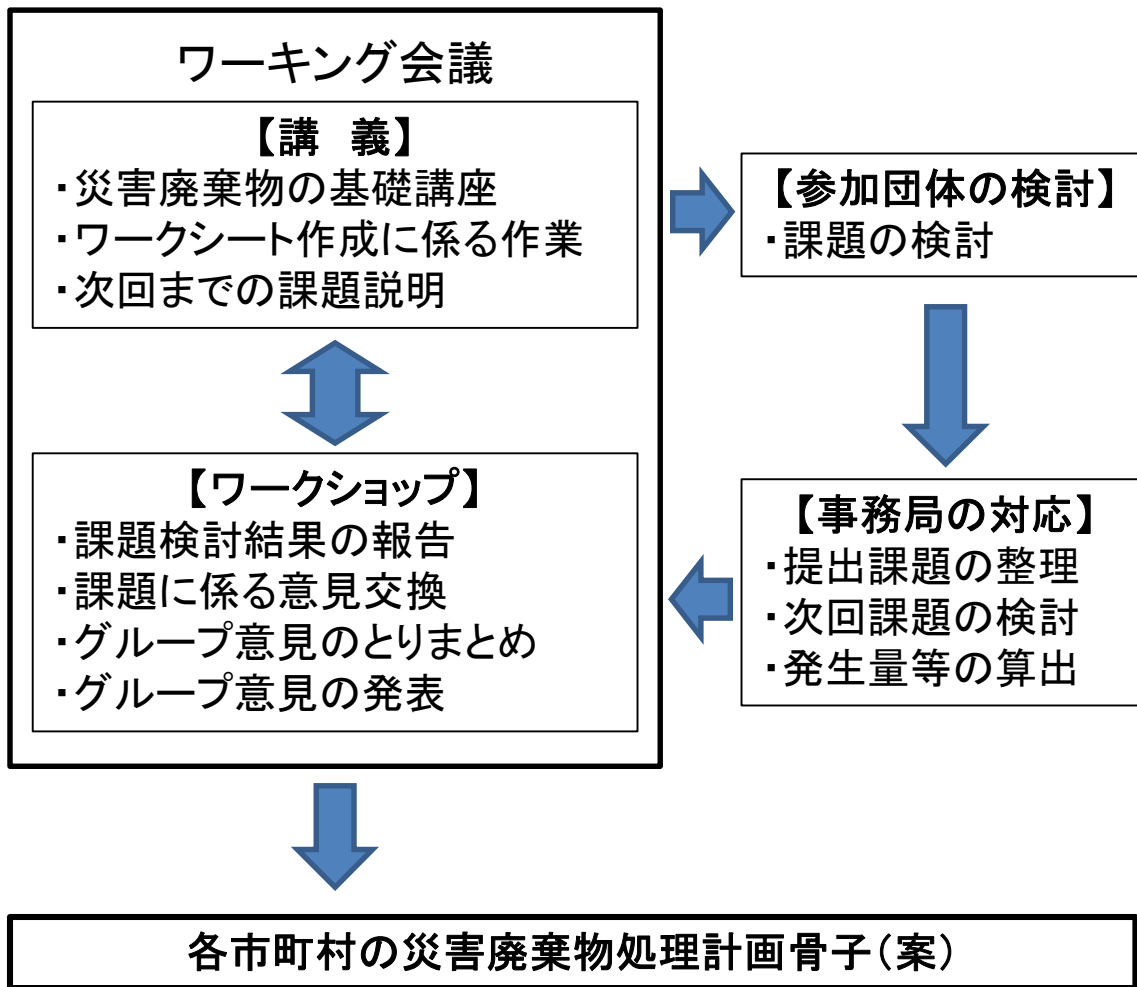
調査項目	調査概要
災害廃棄物及びし尿の発生量の推計	◆地震災害(津波堆積物含む)、風水害の災害廃棄物等発生量の推計(平成29年度災害廃棄物対策推進検討会における算定方法による試算)、◆し尿の推計、◆片付けごみ発生量の推計(試算)、(参考)一部損壊の発生量原単位の試算
災害廃棄物の処理可能量の検討	◆一般廃棄物処理施設の処理能力、◆災害廃棄物処理可能量の検討、◆塵芥車、し尿収集車の収集運搬台数の試算
仮置場の面積の推計及び仮置場の理想的な配置に係る検討	◆仮置場の必要面積の推計(災害廃棄物対策指針による推計方法、被災建物の解体・処理期間を考慮した推計方法、片付けごみを考慮した推計方法)、◆仮置場の理想的な配置
市町村ごとの災害廃棄物処理計画骨子(案)の作成	◆環境省本省作成のモデル事業ワークシートをもとに近畿版を作成。ワーキング会議結果を踏まえた対象地域別の骨子案を作成
府県・地方環境事務所支援マニュアルの作成	◆ワーキングを通じて得られた課題と対応について必要な支援事項を示した、府県と地方環境事務所との連携による支援マニュアルの作成
ワーキング開催	◆ワーキング会議 3回実施(うち、ワークショップ2回実施) ◆府県事前ワーキング実施 3回

	対象地域(計20団体)
京都府内 (7団体)	①綾部市、②亀岡市、③京丹後市、④木津川市、⑤久御山町、⑥精華町、⑦南山城村
奈良県内 (13団体)	①大和郡山市、②桜井市、③香芝市、④葛城市、⑤宇陀市、⑥平群町、⑦斑鳩町、⑧高取町、⑨明日香村、⑩吉野町、⑪大淀町、⑫川上村、⑬さくら広域環境衛生組合

事業結果の概要（市町村ごとの計画骨子（案）の作成）

ワーキング会議結果をもとにして、京都府内7地域、奈良県内12地域（組合は該当地域に統合）の災害廃棄物処理計画骨子（案）を作成した。

ワーキング会議の枠組



災害廃棄物処理計画骨子案の構成

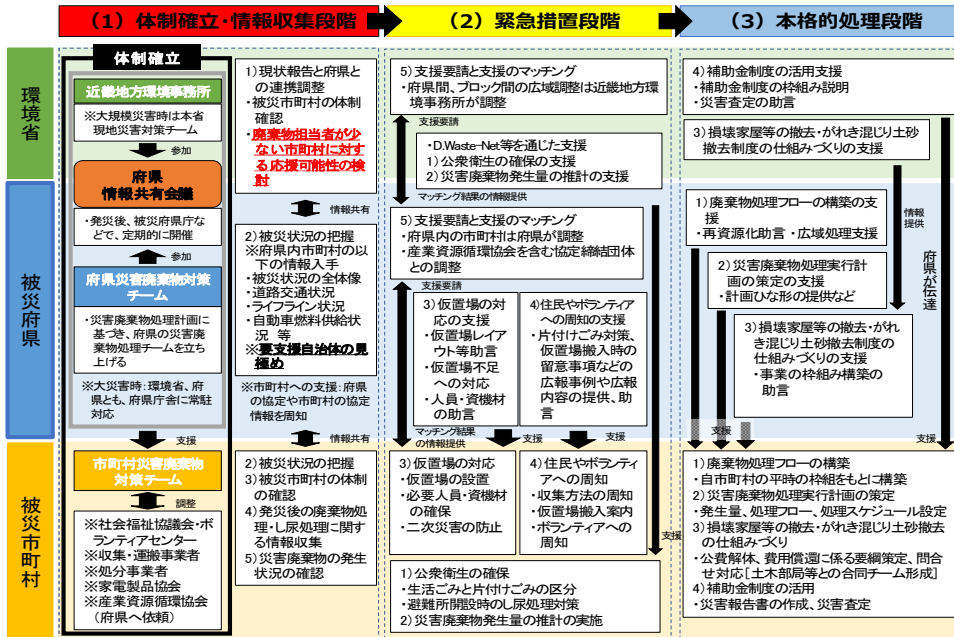
1編	総則
1章	背景及び目的
2章	本計画の位置づけ
3章	基本的事項
(1)	対象とする災害
(2)	対象とする災害廃棄物
(3)	災害廃棄物処理の基本方針
(4)	処理主体
(5)	地域特性と災害廃棄物処理
(6)	教育訓練・研修
2編	災害廃棄物対策
1章	組織体制・指揮命令系統
(1)	市災害対策本部
(2)	災害廃棄物対策の担当組織
2章	情報収集・連絡
(1)	市災害対策本部との連絡及び収集する情報
(2)	国、近隣他都道府県等との連絡
(3)	大阪府との連絡及び報告する情報
3章	協力・支援体制
(1)	自衛隊・警察・消防との連携
(2)	市町村等、都道府県及び国の協力・支援
(3)	民間事業者団体等との連携
(4)	ボランティアとの連携
(5)	災害廃棄物処理の事務委託、事務代替
4章	住民等への啓発・広報
5章	一般廃棄物処理施設等
(1)	一般廃棄物処理施設の現況
(2)	仮設トイレ等し尿処理
(3)	生活ごみ
(4)	避難所ごみ
(5)	片付けごみ
6章	災害廃棄物処理対策
(1)	災害廃棄物処理の全体像
(2)	発生量・処理可能量
(3)	処理スケジュール
(4)	処理フロー
(5)	収集運搬
(6)	仮置場
(7)	環境対策、モニタリング
(8)	損壊家屋等の撤去(必要に応じて解体)
(9)	選別・処理・再資源化
(10)	最終処分
(11)	広域的な処理・処分
(12)	有害廃棄物・適正処理が困難な廃棄物の対策
(13)	津波堆積物
(14)	思い出の品等
(15)	その他地域特性のある災害廃棄物処理対策
7章	災害廃棄物処理実行計画
8章	処理事業費等
9章	災害廃棄物処理計画の見直し
巻末資料	
巻末資料	
参考資料1) 災害廃棄物発生量等 算出方法	
参考資料2) 広報事例	

※1編6章(13)津波堆積物は津波被害が該当する地域のみ記載

事業結果の概要（府県・地方環境事務所支援マニュアルの作成）

ワーキング会議結果のほか、府県事前ワーキングを計3回実施するなどして、「災害廃棄物処理に係る府県・地方環境事務所による市町村支援マニュアル（案）」の京都府版、奈良県版を作成した。

府県を核にした災害廃棄物処理対策の行動フロー図



災害廃棄物処理に係る府県・地方環境事務所による市町村支援マニュアル（案）

章	項目
1章 目的	中小規模市町村を対象にしたマニュアル
2章 府県及び地方環境事務所職員の役割	(1)災害廃棄物処理計画における府県職員の役割 (2)行動計画をもとにした府県及び地方環境事務所職員の役割
3章 市町村支援のための事前準備(平時の対応)	(1)現地支援の体制 (2)安全・健康管理 (3)現地携帯品(例) (4)連絡手段、ツール (5)情報共有(現地支援の記録及び引継ぎ) (6)初動対応時の業務リスト
4章 発災後の活動時期別支援内容	(1)発災後の支援体制と支援の進め方 (2)体制確立・情報収集段階 [第1段階] (3)緊急措置段階 [第2段階] (4)本格的処理段階 [第3段階]
資料編	・広報内容(例) ・現地支援の留意事項 ・締結協定一覧 ・市町村支援マニュアルチェック表

4章 活動時期別支援内容 の例

◎人員体制（専従体制の有無、指揮系統の確立）の確認

- 災害廃棄物処理について専従の人員の確保有無
- 災害廃棄物処理事業を担う部署の確立有無
- 自治体幹部が災害廃棄物処理の重要性を認識し、災害廃棄物に特化した体制が組まれているか。もしくは組もうとしているか
- 部長クラスと管理職と、現場に出ている補佐・主幹・担当クラスとの意思疎通の有無（幹部による現場の実情把握の有無）
- 他部署や環境分野からの職員（経験者含む）の有無

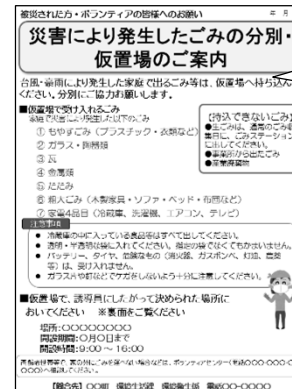
・災害廃棄物担当が1名など少なかったり、初動期には避難所運営支援等で不在であったりする場合もある。被災自治体の上層部（首長、危機管理監、廃棄物担当の部長など）に対して、災害廃棄物担当の配置及び複数人によるチーム編成の重要性を伝達（チーム編成は災害の被害規模が大きい場合）

・組織体制の不備がある場合、被災市町村担当者と同で自治体幹部と交渉に参加

府県・事務所や市町村が実施すべき項目

府県・事務所の実施事項及び留意点

資料編 の例



発災時に使用可能な広報事例を整理

発災時に使用可能な情報共有のフォーマット(仮置場設置・運営・管理チェックシート、仮置場搬入車両チェック表など)

The screenshot shows a table with columns for "項目" (Item), "内容" (Content), and "備考" (Remarks). It lists various items related to the temporary disposal site, such as "仮置場の設置" (Temporary disposal site setup), "仮置場の運営" (Temporary disposal site operation), and "仮置場の管理" (Temporary disposal site management). The table is used for checking off items during the disaster response.

事業結果の概要（ワーキング会議の開催）

ワーキング会議3回、うちワークショップ2回を実施し、災害廃棄物処理計画骨子案の作成に関する意見交換を実施した。モデル事業対象団体のほか、近畿地方環境事務所、京都府、奈良県が参加した。

ワーキング会議の開催概要

開催回	開催内容	開催日		
		京都府内	奈良県内	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業の概要説明 ・災害廃棄物処理の実態、災害廃棄物処理計画策定の留意点 ・災害廃棄物発生量の算出方法の説明 ・ワークショップ実施の流れ ・参加団体の災害廃棄物処理計画上の課題の紹介 ・災害廃棄物処理上の課題に関する意見交換 ・次回ワーキング会議の課題説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング会議の進め方 ・意見交換の実施内容説明 	8/14	8/12
第2回 WS①	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの進め方 ・グループ発表 ・次回ワーキング会議の課題説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワークショップ(テーマ1～3) ・講評 ・チェックリストの紹介 	10/8	10/6
第3回 WS②	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワーキング会議で示された対策例 ・第2回ワークショップ（冒頭説明、事例紹介、テーマ1～2） ・グループ発表 ・ワーキング会議後の課題説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・講評 ・府県・地方環境事務所支援マニュアル 	12/2	12/3

府県事前ワーキングの開催概要

開催回	開催内容	開催日	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業の概要 ・近畿版ワークシート案作成の方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワーキング会議実施内容 ・府県・地方環境事務所支援マニュアルの作成方法 	7/16
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回ワーキング会議実施方法 ・第3回ワーキング会議までに検討する課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワークショップの検討テーマ 	9/10
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回ワーキング会議実施方法 ・府県・地方環境事務所支援マニュアル(たたき案) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング会議後に検討する課題 	11/10

事業結果の概要（ワーキング会議の開催）

ワークショップの検討課題

開催回	検討課題	検討事項
第2回 WS①	<ul style="list-style-type: none"> ①災害廃棄物処理の組織体制の検討 ②テーマ1「組織内の災害廃棄物処理体制の確立」に係る検討 ③テーマ2「生活ごみの収集運搬、処理」に係る検討 ④テーマ3「仮設トイレ等のし尿の収集運搬、処理」に係る検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害廃棄物処理の組織体制の検討 ・現況の市町村・組合の組織をもとに、災害廃棄物処理に必要な体制を部門ごとに分担 ○テーマ1～3 ・各テーマについて以下を検討 1)何をしなくてはならないか 2)誰が対応するか 3)どのように対応するか 4)想定組織体制で「何が出来て」、「何が出来ないか」
第3回 WS②	<ul style="list-style-type: none"> ①緊急性の高い災害廃棄物等の処理 ②テーマ1「片付けごみ等の収集運搬、処理」に係る検討 ③「仮置場の運営」に係る検討 	
ワーキング 会議後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ①計画骨子案の確認 ②計画骨子案の作成にあたり残された課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画骨子案の修正事項の確認と修正